



38号の主な内容

- ハビタット福岡市民の会総会
- 環境技術専門家会議、ジャーナリスト会議
- ハビタットひろば(2月、4月)
- 職員インタビュー (Mr. Arun Jain)
- 今後のスケジュール ■事務局から
- ケニヤスタディツアー案内(別紙)

第 **38** 号
<http://cnhf.web.fc2.com>

■ハビタット福岡市民の会総会

2013年2月21日(木)ハビタット福岡市民の会の総会及び交流会が、アクロス福岡のグランチャイナにて行われました。総会では、第1号議案の2012年度活動報告、第2号議案の会計報告、第3号議案の2013年度活動計画、第4号議案の運営委員が承認されました。

○2012年度 会計報告

＜収入の部＞	
前期繰越し	183,949円
会費収入	34,000円
支援金他	15,529円
収入合計	233,478円
＜支出の部＞	
ニュースレター印刷費	43,980円
FUKUNET年会費	5,000円
市民どんたく負担金	2,000円
切手・郵便振替手数料他	7,880円
支出合計	58,860円
＜次期繰越し＞	174,618円

○2013年度 活動計画

- 定例会を毎月原則として第3木曜日に実施
- ニュースレターを4月、8月、12月に発行
- ケニヤスタディツアーを実施(9月)
- ハートフルフェスタに出展(10月)
- 地球市民どんたくに出展(11月)
- 国連ハビタット福岡本部の行事への参加
- 国連ハビタット福岡本部との交流会の実施などを計画。

○2013年度の運営組織

- 代表 牟田慎一郎(日本ハビタット協会福岡支部長)
- 副代表 佐竹芳郎 事務局長 野田修司(新任)
- 会計 山前隆 監事 島祐二郎
- HP担当 橋詰順一郎
- 運営委員 早川方樹、中川雅文、山口明巳、清水明美、大坪優美子、古賀慎一郎、古賀暁子、井上良子、中島友樹子、津留崎恵子

交流会では、新しく加わった方々と一緒に、ナイロビのスタディツアーや新年度の計画について楽しく語り合いました。また、事務作業を効率化するためデータをどのように管理していくか、などが話し合われました。
 (津留崎恵子)



■国際環境技術専門家会議 2012

国連ハビタット福岡本部主催の国際環境技術専門家会議2012が2012年11月28日に「水の技術」を29日に「持続可能な都市開発」をテーマとして、博多エクセルホテル東急で開催されました。ここでは、「水の技術」の専門家会議を紹介します。



アジア太平洋地域では、急速な経済発展を遂げつつありますが、上下水道など基本的なインフラ整備がまだ追いついていません。各国政府、自治体、国連の専門家を招聘し、「水」の分野における現状・課題・具体的なニーズについて把握しました。一方、九州を中心に日本の自治体や企業による同分野の先進的な技術や取り組みを紹介して頂きました。

これにより、アジア太平洋地域と福岡の連携・協力の可能性と問題点を検討することができました。

まず、パキスタン、ネパール、スリランカ、ラオス、カンボジア、ベトナム、インドネシア、中国、モンゴルなどアジア14カ国における水の問題についての発表がありました。課題として出て来たのが

- ①上水道の普及率を上げること
- ②水源汚染を無くし安全な水を確保すること
- ③濁度が高い、海水の混入が有るので水質を上げること
- ④上水道の漏水を無くすこと
- ⑤節水を行うこと

などでした。

次に、日本の先進的な技術や取り組みの紹介がありました。

- ①福岡市よりは節水推進条例、水管理センターで漏水を減らすやり方及び中水道の導入などによる「節水型都市づくり」の取り組み紹介
 - ②協和機電工業(株)よりは小型海水淡水化施設などの紹介
 - ③(有)アサヒクラフトエンジニアよりは浄水施設の設計から工事監理までの紹介
 - ④(財)福岡県すこやか健康事業団よりはゼオライトを用いた水質浄化事業の紹介
- など全部で7者の先進的な技術や取り組み紹介がありました。

その後、ディスカッションが行われましたが、これらの先進的な技術や取り組みはアジア各国の水問題解決に大いに参考になったのではないかと考えられます。

(佐竹芳郎)

■アジア都市ジャーナリスト会議

国連ハビタット福岡本部主催の第7回アジア都市ジャーナリスト会議が、2012年11月29日に「アジアにおける水環境の現状と課題」をテーマに前日に引き続き博多エクセルホテル東急で開催されました。



水は人間の生活にとって欠かすことのできないものであり、街の発展や住みやすい居住環境を実現するうえでも重要です。しかしながら、アジア各国の都市では、安全な水の安定的供給に課題を抱えており、アジア各都市を代表するジャーナリストが、その改善に向けたジャーナリストの役割などについて議論しました。

最初に、インド、スリランカ、インドネシア、ベトナム、フィリピン、中国、日本などのジャーナリストより各国における水事情の報告がありました。とくに急速な都市化率の上昇による水道網整備の遅れの問題がクローズアップされました。休憩後北九州のここ50年の環境改善の取り組み事例が報告され、その経験をもとに、各国への水事業支援あるいは水ビジネスの事例が報告されました。

この会議が、今後、アジア各国が協力して、水環境の改善に取り組む原動力になることを期待したい。

なお、28日の国際環境技術専門家会議、29日のアジア都市ジャーナリスト会議に先立ち、27日に各会議の出席者、国連ハビタット福岡本部のみなさん、アジア各国の国連ハビタット担当者および関係者等が集い、福岡県からも海老井副知事などが参加されレセプションが行われました。ハビタット福岡市民の会の有志も参加し、懇親を深めました。

(牟田慎一郎)



海老井副知事、佐藤摩利子さんを囲んでの市民の会メンバー

■ハビタットひろば

国連ハビタット福岡本部が(財)福岡県国際交流センターと合同でアクロス福岡3Fのこくさいひろばで偶数月の1日に開催している合同レクチャーシリーズ「ハビタットひろば」の報告です。

■第12回「ミャンマーでの活動」

2013年2月1日(金)18:30~19:30にハビタットひろばが開催されました。国連ハビタット福岡本部の上級人間居住専門官スリニバサ・ポプリ(インド)さんが、ミャンマーでの国連ハビタットの活動、ミャンマーの抱える課題と今後の展望について講演をしました。



ミャンマーは人口約5,400万人、中国とインドの間にあり、若い人口が多い国です。オイル、金、米などの資源も多い国です。

2011年に大きな変化がありました。軍事政権が無くなり、民主的な政権になりました。

海外からの支援、海外による投資を受け入れています。大きな発展の可能性が広がっています。今は、85%の人が、農村に住み貧困ですが、政府で独自の開発構想を作り、現実的で挑戦的に取り組んでいます。表現の自由を図り、議会の再建をしました。大統領のリーダーシップで平和的な改革を進めています。インフラの整備に力を入れています。インフラ整備は日本の支援が大きいです。

抱えている課題としては、次のようなものがあります。

- ① トップダウン的になっている。
- ② 個人に頼っている。政府、法律に頼らない。
- ③ ODAは他の国に比べ低い(7.2ドル/人)
- ④ 政府から国民に達するまでに時間がかかる。

などです。今後の展望としては、資源が多く、若い優秀な労働力があり、外国からの投資が多く、豊かな国になる可能性があると思われます。

国連ハビタットとしては、1994年より水と衛生事業を中心に活動してきました。また、2008年にサイクロン・ナルギスで被災した地域において実施した災害復興事業が挙げられます。2008年~2010年に7人の国際スタッフと231人の現地スタッフで1万5,600戸の家を造りました。

講演後の質疑応答も丁寧に行われとても気持ちのよい講演会でした。

(佐竹芳郎)

■第13回「カンボジアの水事情」

2013年4月1日(月)18:30~19:30にアクロス福岡3階こくさいひろばにて、ハビタットひろばが開催されました。国連ハビタット調整官の成田健二さんがカンボジアの水事情について講演されました。

カンボジアは人口は約1,340万人で181,035km²の国土を有し、大部分が海拔100m以下の低地です。

国の中心をメコン川が縦断しており、雨季と乾季がある熱帯モンスーン気候です。政治は立憲君主制国家、経済は東アジアの中でも最貧国の一つと言われておりGDPは約128億ドルです。

国民の8割が農村に住んでおり、下水や排水のインフラは整っていません。

カンボジアで飲み水として飲まれているのは主に井戸水で、52.7%と最も多く、次に河川や池の水を飲んでいる人が23.1%、次に水道水で13.8%となっています。また都市部では状況が異なっており、水道水が最も多く56.8%、井戸水が23.8%、購入した水が13.8%となっていますが、飲料水の供給についてそれぞれに課題が浮き彫りとなりました。

水道水は送水時に土壌や地下水が混濁し、農村ではほとんどが未整備です。

地下水は鉄分が多く砂利が混入しています。浅い井戸は細菌汚染があり、深井戸ではヒ素汚染が深刻になっています。プノンペン付近では3分の1の井戸からヒ素が検出されており、政府は川の水を使うように住民に伝えています。

一方、河川や池を飲み水としている人々は遠く離れた場所まで水汲みに行かなければならず、家庭排水やゴミ投棄による汚染が深刻化しています。また大腸菌や細菌による汚染もあります。また、雨水を貯めている人々もいるのですが、乾季になるとほとんど雨が降らないことと、ボウフラや細菌による汚染も心配されています。

さらに、販売された水が安全で綺麗な水とは限らず、タンクで売られている水は川や池の水の場合が多いとのこと。

国連ハビタットではカンボット州水道拡張プロジェクトを行いました。しかし住民の人々は消毒された水が飲みづらく、水道水で牛を洗い、依然として川の水を飲用しているとのことで、知識や情報・意識のギャップがあることと、教育の重要性が課題となりました。（津留崎恵子）



ケニアスタディツアー参加者募集

ハビタット福岡市民の会では今年の9月にケニアとタンザニアを訪問することになりました。ケニアのナイロビには、国連ハビタットの本部とアフリカ地域本部があり、表敬訪問をする予定です。こういう機会がないとなかなかケニアとかに行くことは無いと思います。5日間の休みがとれれば、10日間のコースに参加できます。是非ご検討ください。（別紙詳細）



■職員インタビュー Mr. Arun Jain

2013年3月4日（月）、国連ハビタット福岡本部を訪問し、インタビューをされている、ニュージーランド出身のArun Jainさんにお話をお伺いしました。

○自己紹介をお願いします。

オークランドから来ましたArun Jainです。1月から4月までの4ヶ月間、国連ハビタット福岡本部でインターンとして働いています。現在は大学生で今年9月に卒業し、ニュージーランドで弁護士になる予定です。



○日本に来られるのは何回目ですか？

今回で3回目です。最初に来たのは7年前で、東京では早稲田大学に留学生として通ったこともあります。

○日本及び福岡の印象はいかがですか？

日本も福岡も大好きで、いい印象を持っています。福岡は人々がフレンドリーで、安全で住みやすい街だと思います。

○日本以外で行きたい国はありますか？

いろんな国に行ってみたいです。特に私はアジアに興味があり、アジアの国にもっと行ってみたいです。

○ニュージーランドは地震や津波、洪水などの自然災害が最近ニュースになってますね。

悲しい話ですがその通りです。地層に亀裂が入っているため、地震はよく起こります。また、気候の変動の影響で津波も起こります。さらには台風や洪水なども起こっています。

○近隣のオーストラリアは最近の経済発展がめざましいですが、ニュージーランドはいかがですか？

オーストラリア程ではないですが、ニュージーランドも現在は経済が発展しています。

○ニュージーランドのお勧めの場所を教えてください。

私の故郷であるオークランドをお勧めします。あと、ニュージーランドは一番大きな街でも福岡と同じ位の規模で、自然が豊かで美しい国です。特に海は本当にきれいで、温泉もあります。富士山と同じ位の高さがある、世界的に有名な山のマウント・クックもあります。

○日本とニュージーランドの学校を比べていかがですか？

個人差は多少ありますが、ニュージーランドでは授業料の75%位は国から補助金がでます。60%ぐらいの学生は、親から援助を受けていません。あと、ニュージーランドでは、高校になると、会社を経営したり商売をしたりするなどの個人で経済的に独立できるような教育が行なわれます。以上のような点が日本の教育とは異なります。



他にも話しは多岐に及び、日本食では馬刺しが好きで、福岡市のお気に入りの場所は大濠公園だそうです。また、好きなスポーツはホッケーで、日本の方は野球が好きですねとおっしゃっていた Arun Jain さん。長崎のランタンフェスティバルを楽しみにしているとおっしゃっていました。

非常に誠実で真面目な印象ながらも、ユーモアを交えながら楽しい雰囲気です。いろいろなお話を聞かせてくれました。ニュージーランドで弁護士になられてからも、日本から Arun Jain さんのご活躍をお祈り、応援しています。
(野田修司)

退任の津留崎恵子さんよりひとこと

2007年度に事務局長に就任してから6年間務めさせていただきました。

転勤に伴い、東京へ行くこととなりました。振り返れば、いろんな方々との出会いや思い出がよみがえってきます。ラオスのスタディツアーも楽しかったですし、ハビタット福岡市民の会の活動を通して、新たな世界を見ることができ、視野も広がりました。いつも温かな心でご指導くださいました牟田様をはじめ、皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも、人生を楽しみつつ、国際協力活動を積極的に行なってきたいと思います。



野田事務局長就任のごあいさつ

このたび津留崎恵子さんの後任として、事務局長に就任しました野田修司です。

昔から海外や国際交流に興味があり、代表の牟田さんをはじめ、顔馴染みの方は何人もいましたが、自分が実際に「ハビタット福岡市民の会」に関わり始めたのは、実は今年に入ってからです。そんな自分が、まさに思いがけなく事務局長をやらせていただく事になりましたが、その役割は非常に大きく、やりがいのあるものと強く感じています。

「ハビタット福岡市民の会」の目的を常に尊重して肝に銘じ、今までの流れを引き継いで、今後も本会がますます盛り上がり発展していくよう、自分なりに精一杯頑張りたいと思います。皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



編集後記

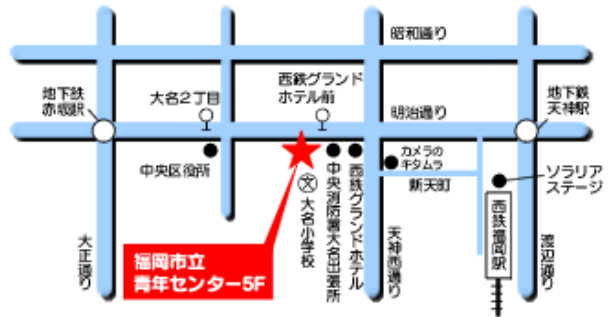
4月は何かと行事の多い季節。そんな中での編集作業はちょっと焦りますが、なんとか間に合いました。4月は、一年中で一番花が多い季節でもあり、自宅の庭にもたくさんの花が咲き乱れ、心をうきうきさせてくれます。さらに空には鯉のぼりが泳ぎ、子どもたちの明るい希望に満ちた未来を想像させてくれます。今の世の中は、必ずしも子どもに夢を描かせる環境とは言い難いですが、まず私たち大人が夢を持ちたいものです。(牟田)



■今後のスケジュール

2013年

- 4月18日(木) 19:00~21:00 定例会
ニューズレター38号発行
 - 5月16日(木) 19:00~21:00 定例会
 - 6月1日(土) 14:00~15:00 ハビタットひろば
「スリランカにおける下水処理施設改善事業」
 - 6月20日(木) 19:00~21:00 定例会
 - 7月18日(木) 19:00~21:00 定例会
 - 8月1日(金) ハビタットひろば
 - 8月22日(木) 19:00~21:00 定例会
ニューズレター39号発行
 - 9月13日(金)~22日(日) ケニヤスタディツアー
 - 10月1日(火) ハビタットひろば
 - 10月 ハートフルフェスタ出展
 - 10月17日(木) 19:00~21:00 定例会
 - 11月9日(土)~10日(日) 地球市民どんたく出展
 - 11月21日(木) 19:00~21:00 定例会
 - 12月1日(日) ハビタットひろば
 - 12月12日(木) 19:00~21:00 定例会
ニューズレター40号発行
 - 12月19日(木) 国連ハビタット福岡本部との交流会
- ☆上記日程は、変更になることもあります。
直前に、ホームページでご確認ください。
定例会の会場は、原則として福岡市 NPO ボランティア交流センター「あすみん」(下図)で行います。定例会後、希望者による食事会も行っています。参加お待ちしています。



■事務局からのお願いとお知らせ

- 2012年度年会費の納入ご協力をお願い
年会費 2000円 (学生:1000円)
会費・支援金の納入は、郵便振替用紙でお願いします。
郵便振替口座 01730-0-78434
加入者名義 ハビタット福岡市民の会
会報の発行や運営は、みなさんの会費で成り立っております。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ホームページアドレスが変わります
新しいアドレス: <http://cnhf.web.fc2.com>

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん連絡ボックス2号

お問い合わせは：
TEL：090-6770-2481(牟田)
FAX：0942-41-2080
E-mail：muta@ktarn.or.jp

